



11月の生活目標

進んで読書をしよう

11月の保健目標

かぜにまけない体をつくろう

運動会等、行事を通してはぐくむ

校長 浅野 博一

先日の運動会では、これまで紅組の7年連続優勝という状況の中、それぞれの競技では、心をひとつにした大声援が送られ、子どもたちの一生懸命な姿が輝きました。全力を尽くした姿は、勝っても負けてもとても美しい感動を生んでいました。閉会式の得点発表…白組の優勝に、ぴよんぴよんと跳ねて、喜びを表す姿と、全力を尽くした紅組の悔し涙…。この運動会を通して、子どもたちは、それぞれに学び、自身を成長させたことと確信いたします。



子どもたちの成長を促した運動会は、PTAの除草作業・環境整備をはじめ、当日の運営お手伝い、おやじの会の皆さまのご支援・ご協力、後片付け、サッカーゴール・バスケットゴールの移動等、たくさんの温かいご助力を賜り実現できました。厚く御礼を申し上げます。

さて、さいたま市立小・中・中等教育・特別支援学校165校では、11月2日(土)に開催される自転車競技イベント「2024 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」に合わせて学校給食にフランスの料理を取り入れる「フランスの食文化を感じる学校給食」を10月中に実施しました。これにより、世界の食文化について理解を深め、食育を推進することがねらいです。本校では、10月22日の学校給食で計画をしたところ、さいたま市教育委員会から竹居秀子教育長が、健康教育課指導主事と共に、視察に来校されました。当日は、3年3組の児童と一緒に、教育長が会食をしました。子どもたちは、お客さまをお迎えして、和やかに食事をするマナーもとてもよくできていました。



…明日から11月。秋は徐々に日が短くなり、気温も下がっていく時季です。秋の寂しさは物思いにふけるような感慨深さもある一方で、気分の落ち込みや意欲の低下などに注意が必要です。そもそも、日照時間が短くなるにつれて、人の脳内では「セロトニン」という気持ちを安定させる神経伝達物質が減ってしまうといえます。

アメリカ国立科学財団では、人の脳は、1日1.2万～6万回の思考を行っており、そのうち約80%はネガティブなものであり、多い時には約4.5万回もネガティブなことを考えていると伝えています。

つまり、人間の基本はネガティブ思考であり、意識しなければ自然とネガティブなことを考えて、その負のループにはまってしまうのです。

全米で異例のベストセラーとなった「THINK STRAIGHT」の邦訳版「まっすぐ考える ～考えた瞬間、最良の答えだけに向かう頭づくり～」では、意思決定スキルや集中力、精神の明晰さを手に入れるのに役立つ考え方やテクニックが紹介されています。…わたしたちの取るべき行動は、【自分の思考を自覚して、その中から、無視する思考と重要な意味をもつ思考を選ぶこと】だといえます。役に立つことを考えるのであれば、「自分がコントロールできることだけを考える」のです。

…過去の後悔も、未来の心配も、一切必要ないと述べられています。

脳科学者で医学博士である中野信子著「科学がつきとめた『運のいい人』」にも述べられているように、今の自分を大切に、他者を大切に、常に物事をポジティブに考え、良い脳内物質が出るように、日頃の行動や考え方を改めたいものです。つばさっ子には、学習指導のほか、人間の中で、集団の中で、人間性を調和的にはぐくんでまいります。

おめでとうございます！

◆郷土を描く児童生徒美術展

【特選】

【入選】



◆さいたま市読書感想文コンクール

【特選】

【入選】

◆宮原公民館子どもまつり展示の部学校代表作品

【絵画の部】

【書道の部】

◆さいたま市人権標語

【優秀賞】

◆さいたま市児童生徒科学教育振興展覧会

【優良賞】



10/1(火) 1年生校外学習

10/2(水) 5年生社会科見学

